

草の根・人間の安全保障無償資金協力
「マチンガ県ンサナマ小学校校舎建設計画」

署名式

2016年1月19日



右から:西岡大使、ガンビ教育科学技術省副大臣、チュマチャオ・マチンガ県教育長による贈与契約交換の様様。

2016年1月19日、西岡周一郎大使とエノック・ネルソン・チュマチャオ・マチンガ県教育長は、「マチンガ県ンサナマ小学校校舎建設計画」に関する、草の根・人間の安全保障無償資金協力贈与契約を締結しました。本贈与契約署名式は在マラウイ日本国大使館で行われ、ガンビ教育科学技術副大臣が臨席しました。

教育は人の成長、国の社会経済発展に不可欠です。マラウイでは1994年に初等教育が無償化されて以降、初等教育の就学率は約3倍となりました。一方で、多くの学校において教室の数が不足しており、ンサナマ小学校においても、全校生徒約2,800名に対し8教室のみで、2/3の生徒が天候に左右される屋外で授業を受けています。このため、生徒の多くは授業に集中でき

ず、学習意欲が低下しています。2015年の当校の初等教育修了試験の合格率は58%と低く、また授業を欠席したり退学する生徒もいます。このような現状を改善すべく、日本政府はマチンガ県教育事務所に対し105,100米ドルの資金を贈与することを決定しました。この資金贈与を通じて、マチンガ県教育事務所は2棟の校舎棟(1棟4教室、計8教室)を建設し、学習机及び椅子の供与を行います。

式典で西岡大使は、本事業を実施することでンサナマ小学校の教育環境が改善し、生徒の欠席及び退学数が減少することを期待していると述べました。また、マチンガ県教育事務所に対し、事業を効率的に実施し期間内に完了させること、ンサナマ小学校関係者及び地域住民に対し、事業を成功させるために県教育事務所に協力していくことを要請しました。